

桐光会へのお礼メッセージ(2024 年度秋学期)

#1

この度は桐光会奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございました。これまで学費や実習費、生活費などの費用を奨学金とアルバイト代で賄っていましたが、4年生のため実習期間も長くなり、アルバイトができず収入が大幅に減りました。実習の交通費など出費も増え、金銭的に厳しい状況が続いていましたが、家族からの金銭的なサポートを得ることが難しいため桐光会奨学金を申請しました。今回の受給により金銭的な負担が減り、安心して学業に邁進することができました。ご支援して頂いた桐光会の皆様には心から感謝しています。ありがとうございました。来年の理学療法士の国家試験に向けて、日々の勉強に努めることはもちろんのこと、無事に卒業できるように一層精進してまいります。

理学療法学科 奨学生本人

#2

この度は、貴重な桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響を受け、父が転職を余儀なくされて以降、家計の生活水準は大きく下がり金銭的に苦しい日々が続いておりました。大学入学後は、少しでも家計を支えようと私もアルバイトを始め、身の回りの費用は自力で賄っていましたが、これまで家計を支えてくれていた兄の独立や母が体調不良でパートに入れなくなるなど私一人の力では状況の改善は見込めませんでした。しかし、今回桐光会の皆様からご支援を頂いたことで、金銭的な負担が減り、気持ちにも余裕を感じるようになりました。私は来年から社会人となり、アパレルメーカーで働くこととなりますが、社会に出ることに対してとても大きな不安を感じていました。そのような中で桐光会の皆様からご支援を頂くことができ家族や友人以外にも私を助けようとしてくれる方々の温かい気持ちを実感し私も困っている人を助けられるような社会人になりたいと強く思うようになりました。今後の学生生活では、皆様からご支援を頂く身である自覚を持ち、この4年間で学んだことのすべてを発揮できるようなゼミ論文の執筆に取り組んで参ります。自分でアルバイトをし、お金を稼ぐ経験を経て皆様からご支援頂く30万円という金額の重さを改めて実感しました。このような機会を頂くことができるのは、皆様が私たち学生にお金以上の価値を見出してくれていることに他ならないと思います。そうした期待にも応えられるように、残り少ない学生生活も一日を大切に過ごして参りますので、どうか温かく見守って頂ければ幸いです。改めまして、この度は誠にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#3

この度は、桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。父が悪性リンパ腫と診断され、入院および通院による治療が必要となりました。父の高額な医療費が家計に大きな負担となり、私自身もアルバイトで得た収入を家計に入れておりましたが、今年度から長期での臨床実習が始まり、感染対策等の理由により、以前のようにアルバイトを行えないため、桐光会奨学金を申請いたしました。採用されたことにより、経済的な負担が軽減され、学業に専念できる環境を整えること

ができました。貴会の温かいご支援に心より感謝し、恩返しのためにも勉学に励み、社会に貢献できるよう努力してまいります。

作業療法学科 奨学生本人

#4

この度は、桐光会奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございます。私には中学、高校、大学に在学する3人の弟がおり、教育費が家計を圧迫していました。両親になるべく頼らないよう一部教材費や交通費、携帯代などを支払うためアルバイトをしていましたが、国家試験に向けた大切な時期に勉学とアルバイトの両立に難しさを感じておりました。今回、奨学金を給付していただいたお陰で不安が減り、より一層勉強に専念することができております。国家試験に合格後は、看護師として働く予定です。目白大学で学ばせていただいたことに感謝し、立派な看護師になり社会貢献していきたいと考えております。今後も日々精進し、残り少ない大学生活を期待に添えられるよう努力して参ります。

看護学科 奨学生本人

#5

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭であり、コロナの影響で母が勤めていた会社が倒産するなどの理由から転職を繰り返している時期がありました。また私自身も3年生での社会福祉士の実習、4年生での精神保健福祉士の実習、就職活動、国家試験に向けた勉強と思うようにアルバイトができない状況にあります。アルバイトに割く時間がないことで、母の経済的負担を大きくしまったため、少しでも負担を減らすことができるように、今回奨学金を申請しました。今回、採用していただいたことで、経済的負担が減り、母も大変喜んでおります。私も経済面への不安が減り、学業だけでなく、ボランティア活動にも力を注ぐことができます。今後の学生生活では、社会福祉士、精神保健福祉士の2つの資格を取得できるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。また、大学卒業後の進路については子ども福祉での就職を考えています。子どもたちや子育て家庭が、地域で安心して日常生活を送れるように支援するソーシャルワーカーになるため、これからも努力を怠らず、取り組んでいきます。最後に、この度度桐光会奨学金に採用していただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

人間福祉学科 奨学生本人

#6

この度は、桐光会奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。今回、こちらの奨学金を申請いたしました理由は、片親家庭という状況の中、親の職場が変わり、収入が減ったことや、祖母が倒れたことにより、親の実家に週に1度通って面倒をみたり、お金を今までよりも多く入れたり、経済的負担が増したためでした。また、私自身、就職活動と卒業製作などにより、あまりアルバイトに時間を充てることができず、大変厳しい状態でした。大学生活も残り半年という中で、親子共々、採用の連絡が来るまでとても不安な気持ちで過ごしておりました。しかし、桐光会の皆様のおかげで、無事卒業ができそうで安心いたしました。卒業まで残り4ヶ月程となりましたが、油断せず、必ず卒業いたします。現在、就職活動は

終わり、内定をいただいているため、残すところは卒業制作のみとなっております。目白大学での4年間の集大成となるよう、細部まで突き詰め、良い作品を作り上げたいと思っております。卒業後は、今回ご支援いただいたことへの感謝を忘れず、就職先で活躍できるよう、日々精進してまいります。最後に、桐光会の皆様には感謝してもしきれません。重ねてお礼申し上げます。

韓国語学科 奨学生本人

#7

この度は、桐光会修学支援奨学金の選考において、採用していただき誠にありがとうございます。今回、こちらに応募させていただいた理由は、両親の負担を減らしたかったからです。音楽大学に通う妹と、来年が高校受験の弟がおり、私も含め学費や生活費等々は両親が負担していました。私自身、アルバイトや奨学金で、通信料や交通費、病院代等々、自分で払っていましたが、家計は苦しいままでした。今後の学生生活は今学期が最後になり、最大の目標である卒業のため、ゼミの論文を余裕持って終わることを意識して取り組んでいます。あと少しの時間ですが、精一杯励みます。卒業後の進路は、小売業界に就職することが決まっています。ライフワークバランスを軸に就職活動を始め、今年の5月にその会社に決めました。仕事と生活を両立させられるよう、時間管理を中心に頑張っていきたいです。この度は誠にありがとうございました。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#8

私が奨学金を申請した理由としては、家庭の経済状況の悪化と就職活動の本格化による収入の減少がありました。大学生活を通して学業に励む一方で、アルバイトを行い生活費や学費を賄ってまいりましたが、就職活動によってアルバイトの時間を減らさざるを得ない状況になり、経済的な負担が大きくなっておりました。この奨学金を採用していただいたおかげで、経済的な負担が軽減され、安心して卒業研究に取り組むことができるようになりました。また内定先での事前研修にも集中することができ、学生生活の総仕上げとしてより充実した時間を過ごせると考えております。今後は、卒業研究を最優先に進めつつ、引き続きサークル活動や外部での活動にも力を注ぎたいと考えております。特に所属するサークルではポスターのデザインを担当する役職を務めておりますので、これまで培った経験を活かしながら、後輩の育成にも力を入れていきたいと考えています。また外部活動としてファッションインフルエンサーとしての活動も行っており、そこで得た経験や視点を活かし、ファッション業界での将来の目標へとつなげていきたいと考えております。卒業後は、アパレル業界で販売スタッフとしてキャリアをスタートさせる予定です。現場での経験を積み重ねながら、将来的にはバイヤーや商品デザインの業務にも携わり、ファッション業界をより豊かにできればと思います。最後になりますが、このような温かいご支援をくださる桐光会の皆様へ、心から感謝申し上げます。この奨学金をいただいたことを決して忘れることなく、学生生活を大切に過ごし、卒業後は社会に貢献できる人間になれるよう、より一層精進してまいります。改めて心より御礼申し上げます。

メディア学科 奨学生本人

#9

今回採用していただいたことで、家庭の経済状況に少しゆとりが生まれました。また、私も諦めていた大学卒業までに運転免許取得のために教習所に通うことが可能となりました。今後の学生生活においては、今学期で卒業となるため、卒業研究を最後まで限りなく完璧な状態で提出できるよう改善に努めます。卒業後の進路は、アパレル会社で販売員として働く予定です。大学1年生からアパレル販売のアルバイトをしており、接客や沢山の商品を日々見る中でファッションが大好きになりました。卒業後、販売員として働く中で、知識とスキルを磨き、アパレル販売のプロフェッショナルとしての活躍を目指します。そして、その後は大学で学んだ韓国語を活かして、韓国ファッションに関わる仕事をしたいです。また、将来は自分のブランドを作れるまで成長します。

韓国語学科 奨学生本人